

平成23年7月1日

水管理・国土保全局河川計画課

砂防部砂防計画課

XバンドMPレーダの降雨観測情報の 一般配信の開始について

近年、増加する集中豪雨や局所的な大雨（いわゆるゲリラ豪雨）による水害や土砂災害等に対して、適切な河川管理や防災活動等に役立てるために、国土交通省では、局所的な雨量をほぼリアルタイムに観測可能なXバンドMPレーダの整備を進めています。

平成22年度に新たにXバンドMPレーダを設置した6地域（栗駒山周辺、新潟、岡山、広島、九州北部、桜島周辺）について、試験運用による降雨観測情報の一般配信を7月1日から開始します。（栗駒山周辺地域の観測範囲には、東北地方太平洋沖地震に伴い地盤が沈下した太平洋沿岸地域の一部が含まれております。）

<<http://www.river.go.jp/xbandradar/>>

また、昨年7月より一般配信中の4地域における観測結果と、観測された情報の活用に関する取組を併せてお知らせします。

問い合わせ先

（全般）

河川計画課河川情報企画室

課長補佐 木村 周二（内線：35-392）

（代表）03-5253-8111 （直通）03-5253-8446

（栗駒山周辺、桜島周辺の観測について）

砂防部砂防計画課地震・火山砂防室

課長補佐 越智 英人（内線：36-152）

（代表）03-5253-8111 （直通）03-5253-8468

1. XバンドMPLレーダの降雨観測情報の一般配信の開始について

平成22年7月より一般配信中の関東、中部、近畿、富山・石川の4地域に加え、平成22年度に設置した栗駒山周辺、新潟、岡山、広島、九州北部、桜島周辺の6地域について、7月1日より、試験運用による降雨観測情報の一般配信を開始します。(栗駒山周辺地域の観測範囲には、東北地方太平洋沖地震に伴い地盤が沈下した太平洋沿岸地域の一部が含まれております。) <<http://www.river.go.jp/xbandradar/>>

なお、静岡地域については降雨観測情報の検証作業中であり、精度が確認され次第一般配信を開始します。<資料2>

2. 試験運用中のXバンドMPLレーダによる観測結果について

試験運用中の関東、中部、近畿、富山・石川の4地域の平成22年度の降雨観測結果は、以下のとおりです。<資料3>

○高い時間分解能(1分おきの観測)、高い空間分解能(250m メッシュ)で雨量を観測し、ほぼリアルタイムに(配信までのタイムラグ約1分)配信することが可能。

○地上雨量計では捕らえきれない局地的な大雨を面的に把握。

○観測エリア周縁部では、非常に強い降雨域の後方において、電波が減衰・消散してしまい観測不能となる場合があるため、新規配備のレーダや既存のCバンドレーダとの合成が必要。

3. 河川管理や防災活動等への利活用について

XバンドMPLレーダのリアルタイム性を活かし、一定の雨量に達した場合に携帯電話へアラートメールを配信する社会実験を行うなど、適切な河川管理や防災活動等に役立つ情報提供について検討を進めています。また、XバンドMPLレーダによる詳細な雨量情報を活用した洪水・浸水予測の高精度化を進めます。

<資料1> XバンドMPLレーダについて

<資料2> 平成23年度観測地域

<資料3> 平成22年度主要降雨における観測実例

<参考資料1> XバンドMPLレーダの特徴

<参考資料2> 観測範囲内の自治体におけるXバンドMPLレーダの利活用実態調査